



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1  
www.aioinissaydowa.co.jp

## 被災地の道路復旧をサポートする 「路面状況把握システム(災害復旧支援プラン)」の提供対象を市町村まで拡大

2024年4月23日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、令和6年能登半島地震の被災地復興支援を目的に構築した、テレマティクス自動車保険により取得した自動車走行データを活用して道路復旧をサポートする「路面状況把握システム(災害復旧支援プラン)」<sup>※1</sup>（以下、「本プラン」）について、提供対象を市町村<sup>※2</sup>に拡大しましたので、お知らせします。

※1 [https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2024/news\\_2024022001274.pdf](https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2024/news_2024022001274.pdf)

※2 東京都特別区を含む

### 1. 背景

当社は、2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の復興支援を目的に、被災地における損傷した道路の効率的な復旧を支援するため、自動車走行データを活用し、路面状態に損傷の疑いがある箇所や、推定損傷度合いを地図上に表示する本プランを2024年2月に構築しました。

本プランの提供対象は、主要インフラの早期修繕を目的に、県道などを管理する県庁に限定していましたが、市町村が復興計画を立てるうえで、生活道路の道路損傷箇所の早期把握を行いたいという声があり、今般、提供対象に市町村道を直接管理する市町村を含めることとしました。

### 2. 概要

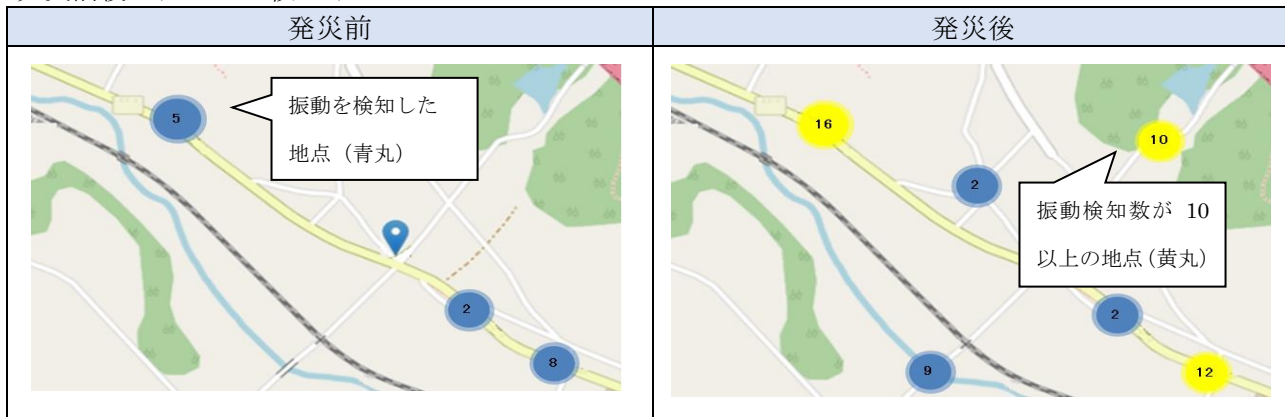
#### (1) 本プランの概要

本プランは、当社のテレマティクスデバイスより緯度経度・走行速度・x, y, z 軸加速度などの走行データ<sup>※3</sup>を「車両の振動情報」として取得し、「振動を検知した車両数が多い」「検知した振動幅が大きい」地点を路面の異常箇所として検出します。発災前のデータをセットして提供することで、発災前後でデータの比較が可能となり、地震によって損傷が発生している箇所を把握し、修繕計画の策定に活用いただけます。

また、システムに蓄積したデータによって、発災後の振動検知箇所の増減の推移を把握できます。これにより、道路修繕の進捗程度の推定や、修繕後の経過観察も可能となり、長期に渡る道路管理業務のサポートが可能です。

※3 個人情報を含まない形で自動車走行データの加工・統計化を実施

#### <発災前後のデータ比較のイメージ>



#### (2) 提供対象の拡大<sup>※4</sup>

提供対象	災害救助法適用地域の都道府県・市町村
申込期間	発災時から6か月後の末日まで
利用期間	提供から3か月間
利用料金	無償

※4 内容は今後変更となる可能性があります。

### 3. 今後の展開

当社は、豊後水道を震源とする地震被害の復旧に向け、従来の「路面状況把握システム」を提供<sup>※5</sup>し、発災後の道路修繕の進捗程度の推定や、修繕後の経過観察を支援します。

災害により被害を受けた道路の早期復旧への貢献を目指し、引き続き大規模地震の被災地へ本プランを提供するとともに、被災地域の声をもとにした改善を進めていきます。

※5 発災後のデータをセットした無償利用可能なプラン提供し、災害救助法が適用された場合、災害復旧支援プランを提供します。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

